

# 原子爆弾の恐ろしさ

6年

六年 N・T

ぼくは、原子爆弾の恐ろしさをだいぶ分かってきました。

原子爆弾は、1発で何十万人という多くの人を消し去ります。生き残った人もいずれは、傷つき死んでいきます。ピカドンという爆弾は、とても恐ろしく放射能を受けた人は、骨が見えそうならいまで肉が垂れ下がりとてもかわいそうです。

ある人が山へ逃げて、原子爆弾から逃げ切りました。少したって帰ってみるとほとんどの人は、死んでいて生きている人は、おばけのようになっていた。という実際のお話があります。ぼくはこの本を読んだとき、とても残酷だなあと思いました。戦争をしても何にもいいことは起こりません。お互いに傷つけ合い何万人もの犠牲者を出し戦争は悲しいことしか起こらないと思います。ですからこれからは、ないと思うけど戦争を絶対やらないようにしてください。おたがいに仲の悪い国もあると思うけど、全部の国が平和・仲間というのが僕は一番いいと思います。みんなで助け合い生きていき1日1日が、「あー楽しい1日だったなあー」と全力国の人か思えるといいなど僕は思います。

